

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第63期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	大成温調株式会社
【英訳名】	TAISEI ONCHO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山口 隆義
【本店の所在の場所】	東京都品川区大井一丁目47番1号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区大井一丁目24番5号
【電話番号】	（03）5742-7301（代表）
【事務連絡者氏名】	上席執行役員 管理本部長 奥山 徹
【縦覧に供する場所】	大成温調株式会社横浜支店 （横浜市中区太田町六丁目84番地2） 大成温調株式会社大阪支店 （大阪市中央区北浜三丁目6番13号） 大成温調株式会社名古屋支店 （名古屋市中区錦三丁目6番34号） 大成温調株式会社関東支店 （さいたま市北区宮原町二丁目34番地3） 大成温調株式会社東関東支店 （千葉市中央区新町3番地7） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第2四半期 連結累計期間	第63期 第2四半期 連結累計期間	第62期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	20,439,796	22,498,049	51,391,632
経常利益又は経常損失( ) (千円)	509,336	10,742	426,936
四半期純損失( )又は当期純利益 (千円)	373,762	6,225	224,855
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	349,153	405,238	451,926
純資産額(千円)	17,377,358	18,340,685	18,182,155
総資産額(千円)	34,953,634	33,299,533	40,240,793
1株当たり四半期純損失金額( ) 又は1株当たり当期純利益金額 (円)	28.13	0.47	16.92
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	49.7	55.1	45.2
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	2,384,861	2,684,578	1,046,330
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	140,190	304,354	249,586
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	195,969	493,099	16,208
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	12,069,496	7,667,990	11,077,440

回次	第62期 第2四半期 連結会計期間	第63期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1 株当たり四半期純損失金額( ) (円)	14.28	2.33

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第62期第2四半期連結累計期間及び第63期第2四半期連結累計期間については1株当たり四半期純損失金額であり、潜在株式が存在しないため、また、第62期については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権によるデフレ脱却に向けた様々な経済・金融政策の期待感などから円高の是正や株高が進み、緩やかに景気回復へ向かう動きがみられました。しかしながら实体经济への波及までには至っておらず、また、海外経済においては、米国の財政問題の動向や、中国をはじめとする新興国の成長率にも陰りが見えるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの建設業界におきましては、公共工事は堅調に推移したものの、資材・労務費等のコスト上昇圧力や受注競争の激化により、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比31.4%増の311億58百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は224億98百万円（前年同四半期比10.1%増）となり、営業損失は98百万円（前年同四半期は営業損失6億26百万円）、経常損失は10百万円（前年同四半期は経常損失5億9百万円）、四半期純損失は6百万円（前年同四半期は四半期純損失3億73百万円）となりました。

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きくなる傾向があり、一方、販売費及び一般管理費などの固定費は各四半期にほぼ均等に発生するため、利益が連結会計年度末に偏るという季節的変動があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 日本

売上高につきましては147億68百万円（前年同四半期比7.4%減）となり、セグメント損失は4億45百万円（前年同四半期はセグメント損失6億74百万円）となりました。

#### 米国

売上高につきましては31億52百万円（前年同四半期比57.4%増）となり、セグメント損失は12百万円（前年同四半期はセグメント損失54百万円）となりました。

#### 中国

売上高につきましては37億1百万円（前年同四半期比55.6%増）となり、セグメント利益は3億44百万円（前年同四半期比89.7%増）となりました。

#### インド

売上高につきましては62百万円（前年同四半期比7.0%増）となり、セグメント損失は50百万円（前年同四半期はセグメント損失21百万円）となりました。

#### フィリピン

売上高につきましては8億11百万円（前年同四半期は46百万円）となり、セグメント利益は65百万円（前年同四半期はセグメント損失56百万円）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ34億9百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には76億67百万円（前連結会計年度比30.8%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は26億84百万円(前年同四半期は23億84百万円の獲得)となりました。これは主に資金減少要因である仕入債務の減少額や未成工事支出金等の増加額が、資金増加要因である売上債権の減少額や未成工事受入金の増加額を上回ったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は3億4百万円(前年同四半期は1億40百万円の獲得)となりました。これは主に関係会社株式の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は4億93百万円(前年同四半期は1億95百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の返済による支出や配当金の支払が短期借入による収入を上回ったこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費は52百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	55,000,000
計	55,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,364,975	14,364,975	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	14,364,975	14,364,975	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	14,364,975	-	5,195,057	-	5,086,553

( 6 ) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
アミー・コーポレーション株式会社	東京都大田区山王2丁目1番8号	2,686	18.70
大成温調取引先持株会	東京都品川区大井1丁目47番1号	1,607	11.19
大成温調株式会社	東京都品川区大井1丁目47番1号	1,279	8.91
水谷 日出夫	東京都大田区	1,112	7.75
河村 和平	東京都品川区	803	5.59
大成温調従業員持株会	東京都品川区大井1丁目47番1号	769	5.35
UBS AG LONDON A/C IPB SE GREGATED CLIENT ACCOUNT (常任代理人 シティバンク 銀行株式会社)	BAHNHOFSTRASSE 45, 8001 ZURICH, SWITZERLAND (東京都品川区東品川2丁目3番14 号)	187	1.30
小川 恭弘	高知県高知市	182	1.27
青木 錠衛	東京都港区	180	1.25
和田 ふみ子	東京都世田谷区	150	1.04
計	-	8,957	62.35

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,279,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,958,000	12,958	-
単元未満株式	普通株式 127,975	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	14,364,975	-	-
総株主の議決権	-	12,958	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式734株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
(自己保有株式) 大成温調株式会社	東京都品川区大井 一丁目47番1号	1,279,000	-	1,279,000	8.90
計	-	1,279,000	-	1,279,000	8.90

2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	11,239,419	7,813,506
受取手形・完成工事未収入金等	18,481,071	13,322,077
有価証券	70,037	70,055
未成工事支出金	1,679,242	2,972,106
商品	7,621	5,409
原材料	92,810	129,104
繰延税金資産	306,480	315,570
その他	1,741,411	1,464,104
貸倒引当金	82,468	56,882
流動資産合計	33,535,626	26,035,050
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,541,312	3,968,309
機械、運搬具及び工具器具備品	935,242	1,078,956
土地	1,881,873	1,892,366
建設仮勘定	325,850	550
その他	95,754	103,908
減価償却累計額	2,890,247	3,039,813
有形固定資産合計	3,889,785	4,004,277
無形固定資産	64,476	118,189
投資その他の資産		
投資有価証券	1,467,617	1,934,154
長期貸付金	386,046	385,579
繰延税金資産	351,577	327,546
その他	1,576,866	1,527,762
貸倒引当金	1,031,202	1,033,027
投資その他の資産合計	2,750,904	3,142,015
固定資産合計	6,705,167	7,264,482
資産合計	40,240,793	33,299,533

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,224,722	10,185,432
短期借入金	671,688	471,321
未払法人税等	74,781	92,498
未成工事受入金	1,618,725	1,892,795
賞与引当金	292,627	296,356
完成工事補償引当金	28,019	29,204
工事損失引当金	368,307	409,610
その他の引当金	7,183	14,588
その他	1,128,340	840,538
流動負債合計	21,414,393	14,232,344
固定負債		
長期借入金	2,082	2,035
退職給付引当金	439,778	461,046
その他の引当金	45,224	61,832
負ののれん	36,162	27,122
その他	120,996	174,466
固定負債合計	644,244	726,502
負債合計	22,058,637	14,958,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,195,057	5,195,057
資本剰余金	5,087,248	5,087,248
利益剰余金	8,626,561	8,447,645
自己株式	307,202	381,541
株主資本合計	18,601,664	18,348,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	156,045	228,210
為替換算調整勘定	579,825	241,020
その他の包括利益累計額合計	423,779	12,809
少数株主持分	4,269	5,085
純資産合計	18,182,155	18,340,685
負債純資産合計	40,240,793	33,299,533

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	20,087,553	22,152,159
その他の事業売上高	352,243	345,890
売上高合計	20,439,796	22,498,049
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	18,862,669	20,222,397
その他の事業売上原価	255,113	251,857
売上原価合計	19,117,783	20,474,254
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	1,224,884	1,929,761
その他の事業総利益	97,129	94,032
売上総利益合計	1,322,013	2,023,794
<b>販売費及び一般管理費</b>	<sup>1</sup> 1,948,388	<sup>1</sup> 2,122,041
営業損失( )	626,374	98,246
<b>営業外収益</b>		
受取利息及び配当金	29,961	32,363
受取保険金	57,811	41,568
持分法による投資利益	-	21,374
貸倒引当金戻入額	5,677	4,436
その他	37,964	51,841
営業外収益合計	131,415	151,584
<b>営業外費用</b>		
支払利息	7,815	7,062
為替差損	2,058	37,580
工事補修費	-	17,257
その他	4,503	2,179
営業外費用合計	14,377	64,080
経常損失( )	509,336	10,742
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	792	-
特別利益合計	792	-
<b>特別損失</b>		
投資有価証券評価損	48,919	-
特別損失合計	48,919	-
税金等調整前四半期純損失( )	557,463	10,742
法人税等	183,700	5,011
少数株主損益調整前四半期純損失( )	373,762	5,731
少数株主利益	-	494
四半期純損失( )	373,762	6,225

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	373,762	5,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,625	72,164
為替換算調整勘定	29,234	338,804
その他の包括利益合計	24,608	410,969
四半期包括利益	349,153	405,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,153	404,422
少数株主に係る四半期包括利益	-	815

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	557,463	10,742
減価償却費	73,464	95,631
負ののれん償却額	9,040	9,040
貸倒引当金の増減額( は減少)	6,903	29,169
賞与引当金の増減額( は減少)	1,089	3,729
退職給付引当金の増減額( は減少)	9,648	21,161
完成工事補償引当金の増減額( は減少)	4,152	1,185
工事損失引当金の増減額( は減少)	289,693	39,451
その他の引当金の増減額( は減少)	6,980	16,098
受取利息及び受取配当金	29,961	32,363
受取保険金	57,811	41,568
投資事業組合運用損益( は益)	1,336	-
支払利息	7,815	7,062
為替差損益( は益)	20,745	7,093
投資有価証券評価損益( は益)	48,919	-
持分法による投資損益( は益)	-	21,374
固定資産売却損益( は益)	792	-
売上債権の増減額( は増加)	6,992,673	5,388,303
未成工事支出金等の増減額( は増加)	986,920	1,146,975
立替金の増減額( は増加)	52,154	368,382
未収消費税等の増減額( は増加)	281,131	41,619
仕入債務の増減額( は減少)	3,374,290	7,156,635
未成工事受入金の増減額( は減少)	351,135	191,778
預り金の増減額( は減少)	11,173	192,638
未払消費税等の増減額( は減少)	79,650	65,166
その他	419,813	81,904
小計	2,766,419	2,689,321
利息及び配当金の受取額	27,761	37,334
保険金の受取額	57,811	41,568
利息の支払額	7,815	7,062
法人税等の支払額	459,314	67,097
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,384,861	2,684,578

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	413	45,515
定期預金の払戻による収入	7,405	61,979
有形固定資産の取得による支出	114,932	54,731
有形固定資産の売却による収入	53	-
有価証券の売却及び償還による収入	50,153	-
投資有価証券の取得による支出	5,674	14,581
投資有価証券の売却による収入	185,160	-
関係会社株式の取得による支出	-	305,712
貸付金の回収による収入	142	236
会員権の売却による収入	1,142	70,600
その他	17,151	16,629
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>140,190</b>	<b>304,354</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,850,628	1,529,707
短期借入金の返済による支出	2,793,135	1,773,310
長期借入れによる収入	780	-
リース債務の返済による支出	15,175	19,276
自己株式の取得による支出	295	74,338
配当金の支払額	238,772	155,881
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>195,969</b>	<b>493,099</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,935	72,582
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,321,146	3,409,450
現金及び現金同等物の期首残高	9,748,350	11,077,440
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,069,496	7,667,990

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より株式を取得したことにより、Seaprodex Refrigeration Industry Corporationを新たに持分法適用の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給与手当	824,731千円	864,483千円
賞与引当金繰入額	80,155	91,895
退職給付費用	47,859	66,209

2 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

当社グループの売上高は、主たる事業である設備工事業において、契約により工事の完成引渡しが第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期連結会計期間から第3四半期連結会計期間における完成工事高に比べ、第4四半期連結会計期間の完成工事高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金預金勘定	9,268,884千円	7,813,506千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	198,413	145,515
取得から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資	2,999,025	-
現金及び現金同等物	12,069,496	7,667,990



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	239,159	18	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	172,690	13	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	米国	中国	インド	フィリピン	計		
売上高								
外部顧客への売上高	15,952,361	2,003,343	2,379,390	58,612	46,088	20,439,796	-	20,439,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	15,952,361	2,003,343	2,379,390	58,612	46,088	20,439,796	-	20,439,796
セグメント利益又は損失( )	674,515	54,669	181,788	21,626	56,934	625,957	502	626,459

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、豪州の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失( )	金額
報告セグメント計	625,957
「その他」の区分の損失( )	502
セグメント間取引消去	85
四半期連結損益計算書の営業損失( )	626,374

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	米国	中国	インド	フィリピン	計		
売上高								
外部顧客への売上高	14,768,894	3,152,644	3,701,905	62,723	811,881	22,498,049	-	22,498,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	14,768,894	3,152,644	3,701,905	62,723	811,881	22,498,049	-	22,498,049
セグメント利益又は損失( )	445,949	12,815	344,873	50,441	65,196	99,136	566	99,702

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、豪州の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失( )	金額
報告セグメント計	99,136
「その他」の区分の損失( )	566
セグメント間取引消去	1,455
四半期連結損益計算書の営業損失( )	98,246

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	28円13銭	0円47銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額( )(千円)	373,762	6,225
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円)	373,762	6,225
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,286	13,195

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

大成温調株式会社

取締役会 御中

太陽 A S G 有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 並木 健治 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 秋田 秀樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大成温調株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大成温調株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。